

◆フレーザーアレンジメント

1

ウェディング

ウェディング 6

2

カラーバリエーション

カラーバリエーション 16

3

小さな花束と
アレンジ

小さな花束とアレンジ 28

4

解説

ウェディングアレンジ 34

テーブルアクセサリ 35

キャンドルアレンジ・カード 36

ウェルカムボード 36

ウェディングブーケ 37

アクセサリ 38

ウェディングブーケのオーダーについて 39

カラーバリエーション 42

小さな花束とアレンジ 48

5

花の知識

花の形について 54

花の知識 56

花を楽しむために 58

フランスと花 60

フランスの結婚式 62

本書で使用した花 63



はじめに

花もファッションやインテリアと同じで、組み合わせ方、色の使い方、花器の選び方など、トータルでコーディネートすることがとても大切です。同じ花でもコーディネートの仕方、美しくも見えれば、悪くも見えるのです。ブーケ（花束）ひとつでも、相手のイメージや飾る部屋のイメージを考えて、プレゼントしてみてください。きっと今まで以上に喜んでもらえるはずです。

花には人をひきつける力があると思います。殺風景な部屋でも、1輪の花があるだけで、なぜか心が落ち着きます。また、落ち込んで元気がない時に花を買って帰ると、花から元気を与えてもらえたような気がします。花は人の心にゆとりを与えてくれるものかもしれません。

この本を読んで、私たちと同じように、花をより身近に感じてもらえ、みなさんの生活に潤いをもたらすお役に立てれば幸いです。





Mariage

ウェディング

ウェディングアレンジ
(34 ページ参照)









テーブルアクセサリー
(35 ページ参照)



キャンドルのアレンジ
(36 ページ参照)



カード
(36 ページ参照)



La réception
de Mariage
le 10 septembre, 1999

ウェルカムボード
(36 ページ参照)



ウェディングブーケ
(37ページ参照)



ウェディングブーケ
(37ページ参照)

アクセサリー

(38 ページ参照)





Variétés de couleur

カラーバリエーション

ブーケ (pink)

(42 ページ参照)



アレンジ (pink)

(42 ページ参照)



ブーケ (Blue)

(43 ページ参照)



アレンジ (Blue)
(43ページ参照)



ブーケ (Yellow)

(44 ページ参照)





アレンジ (Yellow)
(44ページ参照)

ブーケ (Red)

(45 ページ参照)



アレンジ (Red)

(45 ページ参照)



ブーケ (Green)

(46 ページ参照)



アレンジ (Green)

(46ページ参照)



アレンジ (Mix)

(47 ページ参照)





Petits bouquets et Compositions

小さな花束とアレンジ

小さなブーケ籠入り (48 ページ参照)



アイスクリーム風の
アレンジ

(49ページ参照)



ティーカップにアレンジ

(49ページ参照)



アルミ缶のアレンジ
(50 ページ参照)



Petits bouquets et Compositions —

ビンの中に花を生ける
(50 ページ参照)



ジョーロにアレンジ
(51ページ参照)



小さな花束とアレンジ

鳥かごのアレンジ
(51ページ参照)



ハランを使って生ける
(52ページ参照)





解説

カラーページで使った
お花を紹介します

6、7ページのアレンジ



◆ウェディングアレンジ

花材：バラ（白）、アジサイ（白）、ナルコユリ、ヘアグラス

器：ダンボール

代用花：トルコギキョウ（白）、ラナンキュラス（白）、ピンポンギク（白）
レモンリーフ、ゲーラックス、ミスカンサス

日本では、メインテーブルの花はテーブルに沿って広がる形が一般的ですが、フランスでは器にアレンジし、テーブルに飾ることが多いようです。

花嫁が持つブーケとコーディネートしてお花を選び、会場となる場所の雰囲気を考えることも大切です。最近では会場の雰囲気や、テーブルクロスなどの色に合わせてコーディネートするケースも多いようです。季節感を意識した旬のものを選びたいですね。

ワンポイント

ウェディング会場の花材選びのポイントとして、花粉などが落ちやすい花には注意が必要です。使用する場合は、せっかくのドレスを汚さないよう事前に取り除いておきましょう。また、教会の装飾や、ウェルカムフラワーについては、香りのある花でもかまいませんが、披露宴会場の花は、お食事のことを考えて、あまり香りの強すぎる花は避けたほうが無難です。

8,9ページのアレンジ



◆テーブルアクセサリー

●ナブキンリング

花材：スプレーバラ（ピンク）、バラ（白）、アイビー

代用花：スプレーマム（グリーン）、ランタンキュラス（白）、ソケイ、ブブレイム

●お皿の装飾

花材：バラの花びら（白）、アジサイの花（白）、アイビーの葉

器：ガラスの皿

代用花：トルコギキョウの花びら（白）、フバリアの花（白）、ユーカリの葉

●グラスの装飾

花材：スプレーバラ（ピンク）、バラ（白）、アイビー、ラフィア

器：ワイングラス

代用花：スプレーマム（グリーン）、ランタンキュラス（白）、ジニア（白）、ソケイ
ブブレイム

●お花のケーキ

花材：バラ（ピンク）、スプレーバラ（ピンク）、アイビー

代用花：スイートピー（ピンク）、ビットスボルム

○ナブキンリング、お皿の装飾、グラスの装飾

テーブルウェアも可愛い花で装飾すると素敵です。ナブキンの色やテーブルクロスに合わせて、コーディネートしましょう。ほんの少しでも花やグリーンがあれば印象が変わります。二人を祝う乾杯も一層はなやかになりそうですね。

○お花のケーキ

ゴージャスなケーキもいいですが、シンプルなケーキに花やグリーンをあしらったナチュラルなお花のケーキも素敵です。

10,11ページのアレンジ



- キャンドルアレンジ
花材：プバリア(白)、ナルコユリ、ラア
器：テラコッタの鉢
代用花：バラ(白)、アイビー
- カード
花材：アイビーの葉
代用花：バラの花びら

◆キャンドルアレンジ・カード

キャンドルスタンドを使わずに、ナチュラルな雰囲気
でテラコッタの鉢にアレンジしました。お客様には、「ありが
とう」のメッセージを添えて...



- ウェルカムボード
花材：アートの実物、バラ、ガーベラ(白)
レモンリーフ、モス、アイビー
代用花：サンキライ、ブドウ、バラ(白)、
ゲーラックス、ユーカリ

◆ウェルカムボード

お客様をお迎えするウェルカムボード。素敵なパーティ
を予感させるあしらいに。

12,13ページのアレンジ



花材：バラ（白）、レモンリーフ、アイビー
 代用花：アジサイ（白）、ナルコユリ
 ユーカリ

◆ウェディングブーケ

丸くてとても可愛いブーケです。ふわっとしたドレスによく似合います



花材：バラ（白）、センニチコウ（白）
 アイビー、ナルコユリ
 代用花：トルコギキョウ（白）、スカビオサ
 （白）、アスパラガス、レモンリーフ

◆ウェディングブーケ

少し動きがあって、ナチュラルなイメージのブーケです。シンプルなおドレスにもぴったりです。

14ページのアレンジ



◆アクセサリー

●靴

花材：スプレーバラ（ピンク）、アイビー
代用花：センニチコウ（ピンク）、ユーカリ

●ヘッドドレス

花材：スプレーバラ（ピンク）、アイビー
代用花：センニチコウ（ピンク）、ユーカリ

歩くたびにちらっと見えて、とても可愛い装飾です。できれば、少し丈の短いドレスがオススメです。ヘッドドレスもパールやダイヤも素敵ですが、ブーケとおそろいのお花を髪に飾ってもかわいいでしょう。

お色直しのドレスはそのまま、ブーケやこれらのアクセサリーだけを変えて、違う雰囲気を楽しむこともできます。

ワンポイント

ウェディングをよりオリジナリティーあふれるものにしたい人にはおすすめです。自分の個性を生かせるオーダーアクセサリーなのです。ヘッドドレス、イヤリング、チョーカーなど、いろんなアクセサリーが可能です。ドレスに直接花をつけて飾ってみるのも素敵ですね。フラワーアクセサリーは、花嫁をより美しく、華やかに演出してくれます。

◆自分に合ったブーケの見つけ方

ウェディングブーケを選ぶ時、雑誌を見ていてもさまざまなブーケがあって迷ってしまうことが多いと思います。とても楽しい選択ですが、これにはちょっとした気づかいが必要です。

- (1) ドレスのデザインや素材にあったブーケを選びましょう。

シンプルなタイプのドレスであれば、ブーケにポイントをもってこれますが、ドレスがとても装飾的な場合は、花材やボリュームを考えた方がよいでしょう。一般的には、シンプルなAラインやマーメイド形のドレスは、少し動きのあるラインを強調したブーケが良いでしょう。ふわっとした装飾的なドレスは、ラウンド形のブーケが似合います。ドレスのデザインばかりでなく、素材にも気をつけて。

- (2) 自分の体系にあったブーケを選びましょう。

身長は重要なポイントです。背の高い方なら、ラインを強調したブーケでもよいのですが、背の低い方にはあまりおすすめできません。背の低い方はブーケは少し小さめの方がバランスがよくなります。

- (3) 会場にあったブーケを選びましょう。

最近では、ガーデンウェディングやレストランウェディングが増えてきていますが、会場の雰囲気に合わせてブーケ選びも、ポイントの一つです。

◆ブーケをオーダーするには...

まずは、フローリストに自分の希望するイメージを伝えなければなりません。ドレスの写真や生地（なければどんな素材であるか説明する）を持っていくことが大切です。より正確にイメージを伝えるには、自分のイメージに合った雑誌の切り抜きなどを見せるのもよいでしょう。ブーケのオーダーは挙式の約1ヶ月前を目安に考えましょう。花の種類は季節によって異なります。希望する花が入荷不可能な場合に備えて、少しゆとりをもった方が無難です。

◆ブーケオーダーの際に持参するもの

- ドレスの写真（正面だけでなく、サイドやバックスタイルも分かるもの）
- ドレスの生地見本（素材や、色の確認のため）
- 会場の住所、電話番号や地図（招待状を持っていくと便利）

◆ブーケオーダーの際に聞かれること

- どんな場面で持つか（挙式用、披露宴用、二次会用など）
- 会場のイメージ（フォーマル、カジュアルなど、会場の装飾なども決まっていれば伝える）
- 届けてもらう時間
- ブーケを持っている時間
- 当日のヒールの高さ
- 当日つけるアクセサリー

- 当日の髪型（ヘッドドレスも一緒にオーダーするなら必ず伝える）
- 予算

◆ブーケのイメージを伝えるための基礎用語

- 花材：花や葉、枝のこと。ブーケを作るには、何種類もの花や葉が必要です。花の材料という意味合いで、花材といいます。
- グリーン：ブーケを用いる葉のこと。いろいろな種類がありますのでブーケのスタイルやイメージ、花との組み合わせを考えて選びます。
- 花持ち：花が長く咲き、水持ちがよく、しおれにくいこと。
- ナチュラルステム：ワイヤーを使わず、花や葉の茎の部分をそのまま見せた方法。
- ワイヤー：針金のこと。デザインしにくい花や葉、茎に刺したり、巻いたりします。



16,17ページのカラーバリエーション



花材：バラ(薄いピンク)、ハツユキソウ
代用花：ラナンキュラス(ピンク)
ガーベラ(ピンク)、ナルコユリ

◆ブーケ (Pink)

バラのやさしいピンクでかわいらしい印象に仕上がったブーケです。



花材：バラ(薄いピンク)、ナルコユリ
アイビー、ミリオン
器：ファーマーズポット(ペイント仕上げ)
代用花：チューリップ(ピンク)、アスパラ
ガス、レモンリーフ、ヘリクリサム

◆アレンジ (Pink)

ファーマーズポットにアレンジで、ナチュラルに。ハート型のアイビーがポイントです。

18,19ページのカラーバリエーション



花材：リンドウ、ベアグラス
 代用花：キキョウ、テッセン、ミスカンサス

◆ブーケ (Blue)

シックな印象のブーケです。上にかけてたベアグラスのラインがアクセントになっています。男性にもプレゼントしやすい色合いです。

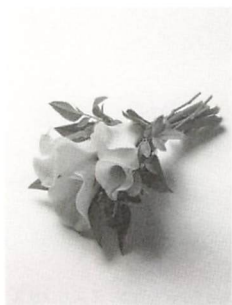


花材：デルフィニウム (ブルー)、トラノオ (紫)、レモンリーフ、アイビー、ミリオン
 器：籠
 代用花：アネモネ (白)、パンジー (ブルー)、スカビオサ (ブルー)、ゲーラックス、ベアグラス

◆アレンジ (Blue)

きれいなブルーのデルフィニウムが、涼しい印象を与えてくれます。レモンリーフを貼り付けて、いつもと違う籠に変身させました。

20,21ページのカラーバリエーション



花材：カラー（黄）、ソケイ
代用花：チューリップ（黄）、ギボウシ

◆ブーケ（Yellow）

シンプルな形のブーケです。カラーのラインをいかしてみました。すっきりとした印象に。



花材：ヒマワリ、ピットスポルム、ハラン
器：ファーマーズポット
代用花：カラー、アセビ、タニワタリ

◆アレンジ（Yellow）

夏と言えばヒマワリですね。自然に生えているイメージを大切に、少し高さを出して生けてみました。器にも一工夫を。

22,23ページのカラーバリエーション



花材：ケイトウ (赤)、バラ (赤+白)
ユーカリ
代用花：センニチコウ (赤)、ガーベラ (赤)
ミリオン

◆ブーケ (Red)

情熱的な赤。個性的なケイトウの花が、オシャレなブーケにしてくれます。グリーンも少しグレーがかったシックな色で合わせました。



花材：スプレーバラ (赤)、アマランサス (赤)
モス、アイビー
器：ココナッツボウル
代用花：ヒベリカム、ペロペロネ (赤)

◆アレンジ (Red)

モスのグリーンと対照的な赤のバラとアマランサスをコーディネートしてみました。インパクトある変わったアレンジです。

24,25ページのカラーバリエーション



花材：スプレーマム（グリーン）、ガルビニア
アマランサス（グリーン）、ミリオンの
レモンリーフ、キウイのつる
代用花：スイートピー（グリーン）、ブドウ
（マスカット）、ペロペロネ（グリーン）
プブレイウム、ソリダスター

◆ブーケ（Green）

和風になりがちなキクも、こんなブーケならとても可愛い印象になります。ナチュラルな仕上がりのブーケは最近人気です。



花材：パーゼリア、モス、アイビー
ラフィア
器：トレー（ラッピング）
代用花：ムギ、アワ

◆アレンジ（Green）

オブジェのようなアレンジです。高さを強調して、ラインを出してみました。テーブルセンターというよりは、玄関などのディスプレイにされてはいかがでしょうか。

26ページのカラーバリエーション



◆アレンジ (Mix)

花材：スカビオサ、ヒベリカム、センニチコウ（白）ビツスボルム、ブドウ

器：グレープフルーツ

代用花：トラノオ、フチトマト、ビバーナム、ミリオン、ブプレリウム

グレープフルーツをくり貫いて器にしました。フルーツポンチのイメージで色をミックスするといいでしょう。甘い感じの色でアレンジを。

他にもスイカ、メロン、夏ミカンなど、色々な果物を器にできます。器となる果物の色と中に入れるお花の色をそれぞれ考えて、バランスを整えます。

ワンポイント

バランスよく生けることは難しいですが、どんなブーケやアレンジでも、一定方向からだけでなく、いろんな角度から見て、バランスを考えながら生けることが大切です。

28ページのアレンジ



◆小さなブーケ籠入り

花材：デルフィニウム、ハツユキソウ、トラノオ、トルコギキョウ、ピットスポ
ルム、ヒペリカム、スプレーバラ、バラ、スカビオサ、アマランサス、セン
ニチコウ、ミリオン、ケイトウ、ナルコユリ

器：かご

代用花：ブルースター、ナノハナ、ストロベリーキャンドル、アネモネ
マーガレット、スイートピー、ニゲラ、ナルコユリ、ユーカリ、ソケイ

少しだけのお花とグリーンでも、ラッピングをするとこんなにキュートに。大きいブーケもステキですが、小さなブーケをたくさん並べるのもちょっとしたアイディアです。

おもてなしの花として、あるいは来て下さったお客様へのプレゼントとして、持って帰って頂くのも素敵ですね。

29ページのアレンジ



花材：センニチコウ（白）
レモンリーフの葉
器：シャンパングラス
代用花：スプレーマム（白）、ゲーラックス

◆アイスクリーム風のアレンジ

センニチコウをアイスクリーム風に見立ててレモンリーフの上のせたら、おいしそうなおアレンジになりました。



花材：スカビオサ、ハツユキソウ
器：ティーカップ
代用花：ニゲラ、ビットスホルム

◆ティーカップにアレンジ

普段使用している食器類も、オシャレな花器になります。カップだけでなく、小さなお皿にお花を浮かべるだけでもアレンジになります。食卓の上に何気なく飾るだけで、キッチンが明るくなります。

30ページのアレンジ



花材：フバリア（白）、スプレーマム（白）
トルコギキョウ（白）
器：アルミ缶
代用花：アガパンサス、ジニア、バラ

◆アルミ缶にアレンジ

短くカットしたお花を無造作に飾ります。思い切って短く深めに飾るのもかわいいですね。使った後のカン、ピンを再利用して。



花材：バラ（赤）、フバリア（白）
器：ビン
代用花：ケイトウ、ライスフラワー

◆ビンの中に花を生ける

小さなブーケを作ってビンに入れてみました。プレゼントに最適です。ちょっとした工夫で、インテリアの一部にもなります。

31ページのアレンジ



花材：ガルビニ、ヒマワリ、アマランサス（グリーン）
器：ジョーロ
代用花：ペロペロネ、ガーベラ
アスバラガス

◆ジョーロにアレンジ

ブリキのジョーロにアレンジしました。とてもナチュラルな雰囲気に仕上がります。パセリやプチトマトなどの野菜を加えても楽しいでしょう。



花材：アジサイ、ヒベリカム、アイビー
器：鳥かご
代用花：ナデシコ、センニチコウ
スマイラックス

◆鳥かごのアレンジ

鳥かごのような形の器を利用してみました。紙を丸めたり、ちぎったりして中に入れるのもいいかもしれません。卵を入れて一緒にアレンジしても可愛いですね。

32ページのアレンジ



◆ハランを使って生ける

(大)

花材：バラ（白、ピンク）、アマランサス（赤）、ハラン

器：ガラスの花瓶

代用花：トルコギキョウ、ペロペロネ

(小)

花材：バラ（赤+白）、フバリア（白）、トルコギキョウ（白）、アマランサス（グリーン）、レモンリーフ、ハラン

器：ガラスの花器（四角）

代用花：スプレーマム、ナデシコ、テッセン、トラノオ、ナルコユリ

ハランを使って生けてみました。とてもすっきりとした形なので、涼しげなイメージを出したい時にピッタリです。

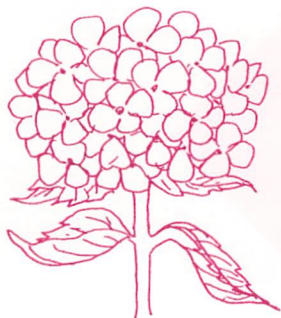
大きい葉は丸めたり、曲げたりすることで違った印象になります。ひと工夫することで、いつもとは違うおしゃれな生け方ができます。



花の知識

知っておくと役立つ
お花の知識をご紹介します

ブーケやアレンジに使う切り花は、形によって大きく4つに分けられます。1種類だけでまとめるのもいいのですが、この形を理解していると花選びや使い分けができ役立ちます。



マスフラワー

マスとは「かたまり」を意味し、小さな花のかたまりや、花びらがたくさんあつまって丸く咲くものをこう呼びます。アレンジではボリュームや立体感をだすのに役立ちます。バラ・ラナンキュラス・ガーベラ・カーネーション・アジサイなど。

ラインフラワー

1本の茎の線に沿って、順々にいくつもの花がついているものをいいます。高さを出したい時、線の流れを生かした使い方をします。デルフィニウム・スナップ・グラジオラス・イリス・リンドウなど。



デッサンなどをしながら、花をよく観察してみると、いろいろな発見があって楽しいでしょう。ここで紹介した4つの分類以外にも、花びらの数、葉のつき方、枝の分け方などでも分類できます。

フィラフラワー

1本の枝から細かく枝分かれして、個々に小さな花がいっぱいついているものをいいます。主役にはなりにくいですが、量感をだしたり、空間を埋めたりするのにとっても役立ちます。ソリダスター・カスミソウ・エリカ・スターチス・コギクなど。



フォームフラワー

花の形が大きく、1つで存在感をもつ個性的な花をいいます。アレンジではフォーカルポイント（焦点）やアクセントに使います。少ない本数でも個性的な使い方ができます。カラー・アンスリウム・ユリ・グロリオサなど。

◆花の色について

お花を贈るとき、どんな色合いにしようかなって悩んだことはありませんか？カラーバリエーションで取り上げたブーケやアレンジでもわかるように、色によって受ける印象は様々です。相手の年齢や趣味・贈る目的などを考えて、お花の色・種類を決めるといいでしょう。もし、相手の好きな色を知っていれば、その同系色でまとめたお花をプレゼントするなんておしゃれな贈り方ですよ。

ここでは簡単にできるお花の色の組み合わせについてお話します。

○お気に入りの一色の濃淡合わせ

あなたの一番好きな色は何ですか？例えばピンクと一言でいってもいろんなピンクがあります。ちょっとずつ違うピンクを混ぜて、お気に入りの色でまとめるのは簡単かつ間違いありません。

○好きな色にもう1色プラス

好きな色にもう1色だけプラスしてみます。花をよく観察してみると、花びらと中心部分の色が違っていたり、花自身が既に色合わせをしています。だから合わせる色は、花のどこかにある色からとれば簡単に違和感ない組み合わせになります。洋服のコーディネートと同じように考えればいいわけです。

○調和・対比の簡単2色使い

ブーケ自体を落ち着いた感じに仕上げるには、同

系色でまとめて調和するイメージがいいでしょう。それとは反対に対比する色同士をもってくると、活気ある雰囲気になります。たとえば、赤と緑、紫と黄色、オレンジと青など。ただしこの場合3色4色と混ぜるとごちゃごちゃしたものになってしまうので注意です。

◆花器の色は花の中の一色で

最近の花瓶は昔に比べてかなりシンプルになっています。お花を目立たせようとするなら、花器は花色の一色を選び、少しトーンは抑えたものがいいです。目的に応じて花器の色のトーンは選び分けると効果的です。全体にソフトなイメージにしたい時は、花器にガラス素材を使うといいですよ。

◆花の質感について

お花・グリーンとも色々な色や形があるほかに質感の違いがあります。例えば、この本でも使っているケイトウの質感は独特です。アネモネのようなつるつるした感じもあれば、ガーベラのようにベルベット調のもの、フリージアのようにつるつとしたものなど数限りありません。合う組み合わせを決めつけることはできませんが、違いを感じながらお花・グリーンを選ぶことができれば楽しいでしょう。

◆花瓶の水は毎日取り替えましょう

茎の切り口から出る有機物がバクテリアを発生させ、花を腐らせる原因になります。そのため、花屋では夏場など延命剤を水に入れたりしますが、ご家庭では漂白剤を1～2滴、花瓶の水に落すとバクテリアの繁殖を抑える効果があります。

※延命剤を使用する場合は毎日替える必要はありません。

◆水の量に注意しましょう

基本的には花瓶の水はたっぷり入れてあげましょう。ただし水に浸る葉は取り除くこと。これもまたバクテリアの発生の原因になります。

◆置き場所に注意しましょう

生けたお花は直射日光の当たる所や暖房装置、通風装置などから遠く離して置くようにします。水分が蒸発しやすいところに置くと花の命が短くなってしまいます。それから、果実の近くに切り花を置かない様に気をつけましょう。熟した果実はエチレンガスを発し、花がこのエチレンガスを吸収すると急速に老化してしおれてしまいます。特にカーネーションや夏の花はエチレンに大変敏感なので気をつけましょう。

◆枯れた花・葉を取り除き、茎は切り戻して

枯れた花は他の花を枯らす原因にもなるので、すぐに取り除くようにします。水揚げが悪くなって、花の状態がだらんとなってしまうたら、もう1度切り口を斜めに切り戻しましょう。

◆水揚げ方法について

根をなくした花は水の吸い上げが悪くなっている
ので、生命を維持させるために切り口をしっかり切
り直し水揚げをしてあげましょう。花によって水揚
げ方法は多少違いますが、1つの花に1方法という
のではなく、花の状態をみて行うことが良いようです。

○水切り法：ほとんどの花

水揚げのなかで、もっとも一般的な方法です。水
の中で茎や枝を斜めに切る方法で、水圧で水の吸い上
げを促します。キク類などの鉄を嫌う花の場合は水
切り法を行うにしてもナイフ・ハサミなどを使わず
に手で茎を折るようにします。また茎が堅い枝物な
どはハサミで切り口に縦に5cmくらいの切り込み
を十文字にいれるといいでしょう。

○熱湯法：ブルースター・ブバリア・マーガレット・初雪草他

茎や枝の先端を水切りした後に、熱湯に数秒から
1分ほどつけ それから冷水につける方法です。茎な
どが堅いほど熱湯につける時間が長くなります。こ
の時、葉や花の部分に湯気を当てないように注意し
ます。

○燃焼法：初雪草・アスチルベ他

水切り後に、先端をガスなどの火で焼いてから冷
水につける方法です。先端を消毒できると同時に炭
化させることによって水の通りがよくなるとも言わ
れています。熱湯法同様に熱さが葉や花に伝わらな
いよう気をつけます。

昔から、花の都「パリ」と言いますが、それは表面的に緑や花が街にあるだけでなく、パリの人々の生活の中に花が溶け込んでいるからだと思います。

パリの街を歩いていると、何でもないディスプレイがとてかわいかったり、カフェテーブルに素朴なブーケが飾ってあったり、自然な花の演出があふれています。愛らしくて思わず抱きしめたいくなるようなブーケがあり、見とれてしまうこともあります。こんなパリの花が人を、とても新鮮で何とも言えない幸せな気分させてくれるのです。

パリの花屋は、個性的なお店も多く、一見して花屋というよりも、アートギャラリーか雑貨屋さんと間違えてしまうくらい可愛い雰囲気のお店がたくさんあります。また、お店の名前はオーナーの名前になっていることが多く、洋服などのデザイナーと同様に、花にもそのお店の個性が出ています。

このように、いろいろなフランスのお店の花を見ていると、これが正しいブーケ、アレンジメントというスタイルは存在しないように思えてきます。昔ながらのスタイルもあれば、その一方で常に新しいデザインが生み出されているのです。

また、デザインやスタイルに捕らわれるばかりではないようです。人や環境にやさしい素材を配慮して、ラッピングは紙であることが多く、ブーケのリボンもラフィアなどの自然素材を使うよう心がけられています。

そして、日本と全く違うのは、花をプレゼントされた人に負担をかけないように工夫されていることです。フランスのブーケは、ブーケのまま花瓶にさせるような形に作られています。それはフランス人が日本人に比べて、花をととても身近に感じているからではないでしょうか。なじみあるインテリアも、たった一つのブーケを飾るだけで、新しい演出となり、生活に喜びを与えてくれることをととてもよく知っているようです。

子供たちでも、母の日やおばあちゃんのお誕生日などにお花をプレゼントします。1本なら子供のおこづかいでも買えるエレガントなプレゼントなのです。こんな環境で育つのですから、花が生活に溶け込むのは当然ですね。

また、フランスの花屋では、女性だけでなく、男性のお客様もととても多いそうです。日本でも花を買う男性が増えてきました。花を身近に感じ、自然に花をプレゼントする機会が増えたら素敵ですね。

注) ブーケ... 日本でいう花束のこと

初夏の日差しを浴びた若葉が美しい6月が、フランスでは最も結婚式の多い季節です。

大抵は約半年ほど前から二人で結婚式の準備を行います。日本と違って段取りは二人が中心になって行われ、友人たちが協力します。

会場は日本のようにホテルで挙式するという習慣が無いので、レストランや古城を借りたりと、さまざまな場所で行われます。衣装などもレンタルではなく購入することが多く、ウェ



ディングブーケもお気に入りの花屋に注文します。日本ではホテルの花屋と決まっているケースが多いのですが、フランスではホテルに花屋が入っていません。

最近では少なくなりましたが、フランスの伝統では、新郎が当日ブーケを注文した花屋へ取りに行き、新婦へ渡すのだそうです。フランスの花屋は、注文を受けると、二人に希望を伺い、必ずブーケのほか教会や会場装飾まで具体的にスケッチを描いて提案します。自分たちのためにそこまでしてもらえるなんて、とても素敵ですね。日本では、そんなフローリストがとても少ないのではないかと思います。それはフランス人の花やフローリストに対する意識がかなり違うからでしょう。フランスの結婚式は決して豪華なものではないですが、それぞれにこだわりをもった花が溢れるすてきなウェディングが多いのもこのためかもしれません。

◆本書で使用了花

アイビー	ナルコユリ
アジサイ	ハツユキソウ
アートの実物	バーゼリア
アマランサス	バラ
カラー	ハラン
ガーベラ	ピットスポルム
ガルピニ	ヒマワリ
キウイのつる	ヒペリカム
ケイトウ	ブバリア
スカビオサ	ブドウ
スプレーバラ	ベアグラス
スプレーマム	ミリオン
センニチコウ	モス
ソケイ	ユーカリ
デルフィニウム	ラフィア
トラノオ	リンドウ
トルコギキョウ	レモンリーフ

ダイソー実用書シリーズ 5 フラワーアレンジメント

著者紹介

掛神 奈苗 (かけがみ ななえ)

パリで活躍中のフランス人フローリスト (E.F.P出身) に師事。フレンチスタイルのフラワーアレンジメントを学ぶ。また、植物学、色彩学、デッサンを習得。インテリアコーディネーターの経験を経て、現在 [Nymphaea] を中心にフローリストとして活躍中。1999年 FAGOT '99「フラワーデザインコンテスト」にて大阪21世紀協会賞を受賞。

竜田 直子 (たつた なおこ)

パリで活躍中のフランス人フローリスト (E.F.P出身) に師事。フレンチスタイルのフラワーアレンジメントを学ぶ。また、植物学、色彩学、デッサンを習得。現在 [Nymphaea] を中心にフローリストとして活躍中。エコール・ド・フローリスト・ド・パリ (E.F.P) デュプロマ、フランス国家資格C.A.P同等取得。
